

神戸は「新しいステージ」へ ～いま街がかわりつつある～



神戸市長

ひ さ も と き ぞ う

久元喜造

【プロフィール】

1954年(昭和29年)2月 神戸市兵庫区生まれ。
神戸市立川池小学校入学、小部小学校卒業、神戸市立山田中学校、
灘高等学校を経て、1976年3月 東京大学法学部卒業、4月旧自治省入省。
総務省自治行政局選挙部長、同自治行政局長などを歴任
2012年11月 1日 神戸市副市長
2013年11月20日 第16代 神戸市長

【著書】

ネット時代の地方自治／ひょうたん池物語／
持続可能な大都市経営～神戸市の挑戦～ **好評発売中**

神戸の輝かしい未来のために

妊娠→出産→子育て
切れ目のない
子育て支援に
取り組んでいます

【主な取組み】

- 特定不妊治療費助成の拡充
- こども医療費助成の拡充
- 多子世帯の保育料軽減
- 3歳未満児の保育料
最高額の引下げ
- 子どもの居場所づくりへの支援
- 児童生徒への通学費援助の拡充
- 地下鉄「U-15定期券」の発売、
海岸線中学生以下無料化社会実験

神戸市教育大綱を策定
教員が児童・生徒と向き合い、
安心して学べる環境づくりを
すすめています

【主な取組み】

- 防犯カメラの設置
(幼稚園、保育所、小学校、中学校など)
- 学校施設の改善
(全小学校・中学校への空調整備など)
- 総務・学習支援担当教員を
配置(小学校50名)
- 教頭業務補助スタッフの配置
- 教頭の処遇改善
- ICTを活用した多忙化対策

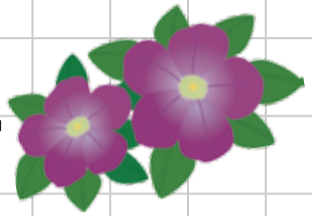
健康寿命延伸
誰もが元気に活躍する
「健康創造都市KOBE」
をすすめています

【主な取組み】

- 65歳の市民を対象とした
フレイル(老化予防)健診の実施
- ヘルスケアポイントを活用した
特定健診の受診勧奨など
- 「歯科口腔保健推進条例」・
「がん対策推進条例」の推進
- 「(仮称)認知症の人にやさしい
まちづくり条例」の制定検討
- 救急安心センター(#7119)の設置
- 市民医療の充実

Chuo

中央区がかわりつつあります



都心の憩いとにぎわいづくり

三宮周辺の道路や広場を市民の憩いの場に変えていきます。都心歩きを楽しく・便利に・お洒落に！！



東遊園地も新たなステージに

東遊園地を神戸の都心にふさわしい公園にします。芝生化の社会実験を行い、大規模な音楽イベントやファーマーズマーケットの開催など、多くの市民の方や観光客の方に来ていただけるようになりました。



区役所窓口をより便利に

中央区は外国人の来庁者の方が多く、区役所窓口が混雑する一因となっていました。住民登録や国民健康保険などの手続きの補助として、外国語対応専任スタッフを配置し、外国人の方とのコミュニケーションがスムーズになることで、外国人の方へのサービスの向上と窓口の混雑緩和をはかることができました。

地域交流拠点も好評

商店街の空き店舗を活用し、子育て世代の居場所作りや、地域住民が集まりサークル活動等を行う場を提供しています。

- ・元町6丁目商店街
「ほかほっぽモトロク」
- ・二宮市場
「のびのびにーの」



メリケンパークをリニューアルしました

多くの観光客や市民の方にウォーターフロントを実感していただけ一大スポットです。開港150年を機に、さらなる魅力化に向けた再整備を行っています。

